

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
基礎演習Ⅱ		必修	1	1	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
坂本宏史 他	D305	sakamoto	木曜日 10:00~13:00		
授業の目的・概要	本演習は、学生が主体となり、積極的かつ能動的に課題に取り組む、実践型の授業である。グループごとに設定した研究テーマ・問題に対し、基礎演習Ⅰで習得した知識と技法を用いて情報を収集・精査・分析をし、課題の解決に向けた方法の検討・選択をすることができる能力を身につけることが目的である。さらに、プレゼンテーションを通して自分の考えを整理し、論理的で説得性のある発表・文章の作成ができることを目指す。新型コロナウイルス感染予防のため、Teams による同時双方向の遠隔講義を中心とした授業を行う。				
学習上の助言	課題を進める上で生じた疑問・不安は、遠慮なく教員やグループの学生に相談すること。本演習では何よりも積極的・能動的な学習 (アクティブ・ラーニング) の姿勢が求められるため、成功・失敗の経験を通して、課題への取り組み方を学んでいくことを期待する。 * 授業計画中の S1~S3 については備考欄を参照してください。				
教科書	大学生 学びのハンドブック (4 訂版) / 編著: 世界思想社編集部 / 世界思想社				
参考書	必要に応じ講義中に紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	他者と協調・協同して課題に取り組むことができる。			HSU(1), HSU(4), HSU(5)	
②	適切な資料に基づいて自分の意見を整理することができる。			HSU(2), HSU(5), HSU(6)	
③	自己の見解を適切な文章で表現することができる。			HSU(2), HSU(5)	
④	適切なプレゼンテーションを行うことができる。			HSU(2), HSU(5), HSU(6)	
⑤	相手の意見を傾聴した上で、適切な質疑応答を行うことができる。			HSU(1)~(6)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション: 演習の進め方、評価方法の説明。大学での生活 (特に交通安全) や学習方法を再度確認する。[合同クラス]	同時双方向型 遠隔授業	教科書で内容を確認する。		0.5
2	初回のみノートのとり方の説明 (20 分)	同時双方向型 遠隔授業・演習	ノートのとり方: 教科書 p12~19 で予習・復習 各回の内容についてまとめ、レポート作成に必要な資料を読む。		3
3	(1) 理学療法領域の現状、今後についての講義を聞き、ノートを作成する。[合同クラス] →S2				
4	(2) 作業療法領域の現状、今後についての講義を聞き、ノートを作成する。[合同クラス] →S2 (3) 福祉・心理領域の現状、今後についての講義を聞き、ノートを作成する。[合同クラス] →S2				
5	2 回目から 4 回目の講義の内容を 1 つ選び、各領域の問題をテーマとしてレポートを作成する。レポートの評価について説明を受ける。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・演習	レポート作成の準備を行う。 教科書 p36~51, p98~103 で予習・復習		1
6	必要な情報を集め、レポートを作成する。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・演習	レポート作成する。 教科書 p36~51, p98~103 で予習・復習		1
7	教科書(p43)「レポート仕上げのチェックポイント」に基づいてレポートを点検し、完成させる。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・	レポートを完成させ提出する (最終提出期限 11 月 4 日)。 教科書 p36~51, p98~103 で予習・復習		1.5
8	研究発表会準備①: 研究発表の評価について説明を受ける。 [合同クラス] グループに分かれ、グループワークの練習: 演習「レンコン」 研究発表テーマの設定を行う。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・GW	発表準備を行う。 教科書 p72~87, p110~113 で予習・復習		1
9	研究発表会準備②: 発表に必要な情報・データを収集し、精査・分析を行う。発表の構成を考える。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・GW	発表準備を行う。 教科書 p72~87, p110~113 で予習・復習 レポート提出期限		1
10	研究発表会準備③: 各発表の主張の裏付けとなる証拠の資料・データをさらに収集し、発表の準備を行う。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・GW	発表準備を行う。 教科書 p72~87, p110~113 で予習・復習		1

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

11	研究発表会準備④: 準備を行い、発表資料を完成させる。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・GW	発表準備を行う。 教科書 p72～87、p110～113 で予習・復習	1
12	研究発表会準備⑤: 発表の予行演習を行い、評価を受ける。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・GW	発表準備を行う。 教科書 p72～87、p110～113 で予習・復習	1
13	研究発表会準備⑥: 予行演習での評価をもとに資料の修正を行い、最終版を完成させる。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・GW	発表準備を行う。 教科書 p72～87、p110～113 で予習・復習	1
14	研究発表会: 発表・質疑応答を实践する。[各クラス] →S2, S3	同時双方向型 遠隔授業・GW	発表準備を行う。発表の振り返りを行う。 教科書 p72～87、p110～113 で予習・復習	1.5
15	演習を振り返り、自己評価を行う。今後の大学生活、学びについて計画を立てる。自己評価と今後について達成度評価レポートを書く。[各クラス] →S1, S2	同時双方向型 遠隔授業	教科書のこれまでの範囲、資料を再読する。	0.5
試	定期試験は行わない。			

達成度評価

総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	40	40	0	20	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	5	0	0	15
	思考・推論・創造する力	0	10	5	0	0	15
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	20	10	0	0	30
	コミュニケーション力	0	0	10	0	5	15
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	0	10	0	0	10

評価のポイント

評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点	フィードバックの方法	
試験	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
レポート	①			
	②	✓	執筆ルールに従ってレポートを作成できているか、適切な文章表現ができているか、テーマに沿った情報を収集できているか、等の評価する (40%)。	提出したレポートにコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間にコメントする。
	③	✓		
	④			
	⑤			
	⑥			
⑥				
成果発表	①	✓	授業内外のグループワークの集大成としてのプレゼンテーションの準備、中身、表現技術、発表への質問など積極性を評価する (40%)。	15 回目にプレゼンテーションの評価結果の発表とともにフィードバックを行う。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			
ポートフォリオ	①			
	②			
	③			
	④			
	⑤			
	⑥			
その他	①	✓	基礎演習Ⅱの中で行った活動の成果、自己評価と今後の大学生活・学びについての計画をまとめた「達成度評価レポート」から、意欲や成長演習への取り組み(練習や質疑応答)、さらに課題の提出状況等を総合的に判断する (20%)。	提出物に対しては必要に応じてコメントを付けて返却する。全体に対する指摘は、講義中の解説時間もしくは 15 回目にコメントする。
	②	✓		
	③	✓		
	④	✓		
	⑤	✓		
	⑥			

【2020 年度/総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

備 考

大学での「学び」はこれまでの「学び」とは異なり、非常に多くの特別な能力（スキル）が必要とされる。健康科学大学では、「基礎演習Ⅰ・Ⅱ（健康科学部）」、「スタートアッププログラムⅠ・Ⅱ（看護学部）」という大学初年次の演習系授業を中心として、これらのスキルの習得を目指している。本講義で習得を目指すスキルは、以下の3つである。

- (1) スチューデント・スキルズ (Student Skills)：大学生での生活の仕方、図書館など施設の利用方法、メンタルヘルスの維持、グループワークでの基本、キャリアデザインなど →S1
- (2) スタディ・スキルズ (Study Skills)：書籍や文献の読み方、ノートの取り方、文章の書き方、レポートの作成方法、口頭発表の基本、学習成果の評価など →S2
- (3) アカデミック・スキルズ (Academic Skills)：問題の設定およびその解決に必要な情報の収集・分析方法、論理的かつ効果的な発表方法など →S3

これらのスキルは重なり合う部分もあり、他の講義でも部分的にその習得を目指すことがある。本学の学生にはこれらのスキルを一早く習得し、自らの「学び」を深めていくことを期待する。

担当教員：◎坂本 宏史、三科 貴博、升 佑二郎、田中 将志、池上 諒、坂本 祐太、中西 康祐、山鹿 隆義、志茂 聡、池谷 政直、井上 美奈子、宇賀 美奈子、柁木 隆寿

実践的授業の内容：プレゼンテーションの準備、実践など、グループワークを中心としたアクティブラーニングを行う。

※必修の演習科目なので欠席や遅刻をしないように努めること。演習の欠席は3回までしか認められない。遅刻も1回で欠席0.5回の扱いになるので注意すること。

感染症予防のため、Teamsを使って同時双方向型遠隔授業を行う。授業時は通信容量が無制限のWIFI環境を推薦する
また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況などによって再度シラバスが変更される可能性がある